資料5

「中堅・中小企業分野における協力のための プラットフォーム」における食関連の取組について

平成29年11月
農林水産省食料産業局

食関連の取組について

○　８項目の「日露経済協力プラン」のうち、食関連については、「中小企業交流・協力の抜本的拡大」の中で、経済産業省と連携しつつ、政府、関係機関、地方自治体、金融機関からなる「中堅・中小企業分野における協力のためのプラットフォーム（日本側プラットフォーム）」に設置した「食関連ワーキンググループ」を活用しつつ実施。

これまでの食関連の主な取組

（1）食関連ワーキングループ（WG）の設置（平成28年11月）
（2）官民ミッションの派遣（平成28年10月）
（3）「ジャパン・フード＆ビバレッジ・ウィーク」の取組/官民ミッションの派遣（平成29年2月）
（4）「炭火居酒屋炎」のウラジオストク出店（平成29年4月）
（5）「イノプロム2017」の取組（平成29年7月）
（6）外食産業投資ミッション派遣の取組（平成29年8月）
（7）ウラジオストクにおける日本ラーメン店のテスト営業の取組（平成29年9月～10月）
（8）食関連見本市「WorldFood Moscow2017」「PIR EXPO2017」への出展（平成29年9月、10月）
等

※　このほか、「中堅・中小企業分野における協力のためのプラットフォーム」の活動の一環である、中堅・中小企業支援セミナーへの参加勧誘等も実施。

【参考】「中堅・中小企業支援セミナー」の開催実績(平成28年)
10/31：札幌、11/23：東京、11/24：米子、11/25：大阪、12/1：富山、12/5：広島　等

（参考）

中堅・中小企業分野における協力のためのプラットフォーム（イメージ）

日本の中堅・中小企業のロシア進出

ロシアの中堅・中小企業の日本進出

支援

セミナー，ビジネスマッチング
イベント等の開催，紛争処理

支援

日本側プラットフォーム
（議長：経済産業審議官）

経済産業省
外務省
農林水産省
金融庁
JETRO
ROTOBO
日本センター
中小企業基盤整備機構
地方自治体
中小企業金融機関
在外公館

中堅・中小企業WG
ベンチャーWG
食関連WG

協力

ロシア側プラットフォーム
（議長：経済発展省官房長兼次官）

経済発展省
ロシア輸出センター
連邦構成主体行政機関
中小企業団体「ロシアの柱」
中小企業発展連邦公社　他

中堅・中小企業WG
ベンチャーWG

食関連ワーキンググループ（WG）の設置

1　経緯・目的等

○　平成28年9月3日、ウラジオストクにて、日本側・経済産業大臣とロシア側・経済発展大臣との間で「中堅・中小企業分野における協力のためのプラットフォーム創設に関する覚書」に署名。

○　同覚書を踏まえ、平成28年9月29日、日本側で「中堅・中小企業分野における協力のためのプラットフォーム関係者会合」（議長：片瀬経済産業審議官）が開催され、日本側プラットフォームを立上げ。

○　平成28年11月25日、同プラットフォームの下に、ビジネスマッチング等を通じて、我が国食品企業のロシアへの進出等を支援するため、食関連ワーキンググループ（座長：松島農林水産審議官）を設置。

2　構成メンバー　※平成29年11月30日現在

・関係府省：農林水産省（座長：松島農林水産審議官）、経済産業省、外務省
・関係機関：（独）日本貿易振興機構（JETRO）、（一社）ロシアNIS貿易会（ROTOBO）
・地方自治体：北海道、新潟県、新潟市、鳥取県（※）
・地方金融機関等：北海道銀行、農林中央金庫、国際協力銀行、海外需要開拓支援機構（クールジャパン機構）、農林漁業成長産業化支援機構（A-FIVE）

からの代表メンバーで構成（必要に応じて、関係者の出席を求め、意見の聴取が可能。）。

※　食関連WG立上げ後にメンバーとして加入。

官民ミッションの派遣【ロシア経済発展省訪問】

1　概要

○　モスクワにて、官民ミッションとして、ロシア経済発展省訪問を実施（平成28年10月20日）。農林水産省のほか、在ロシア日本国大使館、JETROモスクワ事務所、ロシア国際食品見本市「PIR（ピー・アイ・アール）2016」ジャパン・パビリオンに出展した我が国食関連企業11社のうち、4社の代表が出席。

○　日本側からは、今後、ロシアでのビジネス展開に当たり、信頼できる現地パートナーが必要としたうえで、パートナー探しに関しロシア側の協力等を要請。

2　出席者

日本側：農林水産省、在ロシア日本国大使館、JETROモスクワ事務所、食関連企業（※）の代表

※　宇治の露製茶(株)、(株)カン喜、(株)万城食品、マリンフード(株)

ロシア側：ヴォスクレセンスキー経済発展省次官、マルコビッチ農業省国際協力局次長、ラヴロフスキー農業省動植物衛生監督庁顧問他

「ジャパン・フード＆ビバレッジ・ウィーク」の取組

モスクワでの食品展示会「プロドエキスポ」（2017年2月6日～10日）を中心とする1週間余りを「ジャパン・フード＆ビバレッジ・ウィーク」と位置づけ、各種の食関連の交流の取組を実施。農林水産省は、品目別輸出団体（茶、畜産、青果物）※を現地に派遣。

※　品目別輸出団体の各事務局及び食関連企業・団体（12企業・団体）より構成。

① 日本食材セミナー＆交流レセプション【2月3日】（於：在ロシア日本国大使館）
→ロシア側バイヤー等約100名の参加の下、各種日本食材の魅力を解説し、日露関係者が交流。

② ロシア経済発展省等※訪問【2月6日】 ※関係団体として、ロシアレストランホテル経営者連盟との意見交換も実施。
→ 農林水産省、在ロシア日本国大使館、（独）日本貿易振興機構（ジェトロ）モスクワ事務所、新潟市、鳥取県、品目別輸出団体（茶）、「プロドエキスポ」出展に関わる食関連企業（3企業）が参加。

③ 「プロドエキスポ」出展等【2月2日～10日】
→ 品目別輸出団体（茶）は、ブースに茶室を設置し点茶体験等を実施。新潟市、鳥取県等も出展。
品目別輸出団体（畜産）は、ホテル、レストラン、「プロドエキスポ」会場等で「和牛セミナー」を実施。

日本食材セミナー＆交流レセプション

ロシア経済発展省訪問

「プロドエキスポ」会場
（品目別輸出団体（茶）のブース）

食関連の取組事例（「炭火居酒屋炎」のウラジオストク出店）

○ **2017年4月20日**、(株)伸和ホールディングス※が展開する「**炭火居酒屋炎（えん）」がロシア極東ウラジオストクにグランドオープン**（今回の出店にあたり、**農水省としても、「食関連WG」を活用したサポートを実施**。）。※北海道内を中心に「炭火居酒屋炎」等を約90店舗展開し、6次産業化に取組む。

○ 我が国外食産業の進出実績の少ないロシアにおける嚆矢として、今後の展開に期待。

同社のロシア進出にあたっての「食関連WG」としてのサポート

2016年11月25日　農水省が、「食関連WG」（座長：松島農水審）を設置。

〃　12月 5日　ロシアメディアによる「炭火居酒屋炎」(船堀店：江戸川区）取材。【→内閣官房からの依頼に対し、農水省がアレンジ。取材には、内閣官房、外務省、農水省同行】。

〃　12月16日　「日露ビジネス対話」（主催：経団連、（一社）ロシアNIS貿易会（ROTOBO））会場での意見交換の際、(株)伸和ホールディングス佐々木代表取締役より、農水省に対し、ロシア進出にあたっての協力を期待する旨の発言。

2017年　1月　「食関連WG」を活用し、農水省とジェトロで対応を検討。

〃　2月　ジェトロが（株)伸和ホールディングスからのロシア進出に伴う相談に応対（鶏肉の現地生産に必要な日本産飼料の輸入規制情報等）。

2017年4月20日　「炭火居酒屋炎」ロシア極東ウラジオストク店がグランドオープン（同店は87店舗目であり、ロシア初出店）。

▲ロシアメディアによる船堀店取材風景（農水省撮影）

▲ロシア極東ウラジオストク店外景（在ウラジオストク総領事館池田領事撮影）

「イノプロム2017」の取組

エカテリンブルクの産業総合展示会「イノプロム2017」（2017年7月10日～13日）に、日露首脳間の合意により、日本は2017年のパートナーカントリーとして参加。

農林水産省は、ジャパン・パビリオン内に出展する地方自治体、JETRO、ROTOBO等と連携し、日本産農林水産物・食のエリアを構成。【協力：北海道、鳥取県、宇治の露製茶（株）】

日本産農林水産物・食関連ブースにおける主な取組

① 近大マグロの解体実演

→日本食を代表する食材、食品の一つであり、また、資源管理の必要性が言われている中で、天然資源に頼らず世界で初めて開発された、完全養殖技術のクロマグロを日本としてアピール。

② 日本酒・日本茶の試飲

→ 日本酒：醸造法等を説明したうえで、料理との相性も考慮に入れた日本酒の試飲（5種類）。
日本茶：茶の製法の違い等を説明したうえで、抹茶、煎茶、ほうじ茶のほか、ウオッカ茶も試飲。

③ 出展・展示コーナー

→ 出展コーナーには梅酒製造メーカー等が参加。展示コーナーには品目別輸出団体（水産物・水産加工品、日本酒、青果物、牛肉、日本茶）が協力。カニカマ、和牛しゃぶしゃぶ等の試食も実施。

近大マグロの解体実演

日露両大臣による日本食試食

日本酒の試飲

日本茶の試飲

外食産業投資ミッション派遣の取組

海外に進出する日本外食事業者等を支援するため、ロシア出店を検討する際に必要となる現地の商慣習等の課題、参入環境等の把握、現地企業とのパートナーシップの構築に向け、外食産業投資ミッションの派遣事業を実施。（事業実施主体：JETRO）

実施都市 モスクワ、サンクトペテルブルク

日　程 平成29年8月24日（木）～28日（月）

・モスクワ、サンクトペテルブルクは、「２つの首都」と呼ばれ、両都市でロシア全体の１２％（約１,８００万人）の人口を抱え、１人当たりの可処分所得は全国平均より２～３万円程度高い、巨大市場。
・日本食に関しては、居酒屋やたこ焼き屋等の新たな業態も出てきている有望な進出先の一つ。

全体概要

①セミナーの開催

現地の最新の外食市場概況、ロシア進出に当たっての規制、法務・税務・労務、食材調達等の情報提供。

②商業施設等の調査

・出店候補先となり得る商業施設・路面店や、現地の食市場の視察。
・現地商業施設の経営者や、既に進出している日本食レストランから経営概況説明・意見交換を実施。

③現地企業等とのネットワーキング

商慣習等の課題から、現地企業とのパートナーシップの構築に向け、在露大使館、在サンクトペテルブルク総領事館と連携し、モスクワ、サンクトペテルベルクにおいて現地ビジネスパートナー候補、サプライヤー候補とのネットワーキング作りの機会を提供。
（参加団体・企業）
レストラン・ホテル連盟、中小企業団体「ロシアの柱」、中小企業発展公社、現地資本外食企業、食材輸出入業者・小売業者、食品メーカー、商業施設関係者等

日本からの参加企業（7社）

・A社（東京）
　肉系の丼店を展開
・B社（大阪）
　お好み焼き店を展開
・C社（大阪）
　もつ鍋店を展開
・D社（富山）
　ラーメン店を展開
・E社（福岡）
　ラーメン店を展開
・F社（フィンランド）
　日本料理店を展開
・G社（大阪）
　日本茶販売を展開

参加企業において出店の可能性を検討

食関連見本市への出展

モスクワで開催された大規模展示会「WorldFood Moscow2017」「PIR EXPO2017」の2つの食品総合見本市に日本の食品企業から構成されるジャパンパビリオンとして出展。ブース内で出展製品のPR及び現地食品関連企業との商談実施により、 日本産食品輸出拡大を支援。

WoldFood Moscow 2017

開催概要

・主催者：ITE Food＆Agriculture
・会期：2017年9月11日（月）～14（木）
・開催地：モスクワ
・会場　：Expocenter Krasnaya Presnya Fairgraounds

ジャパンパビリオン概要

・出展者数：1500社、64ヶ国
・来場者数：29,859人
・日本からの参加企業：7社
・出展規模：120㎡

・日本からは、青果物、畜産品・畜産加工品、水産品・水産加工品、米・加工品、茶の事業者が参加し、特に、リンゴ、抹茶ラテ、その原料の抹茶について好評であった。

PIR EXPO 2017

開催概要

・主催者：PIR EXPO
・会期：2017年10月9日（月）～10月12（木）
・開催地：モスクワ
・会場　：Crocus-Expo International Exhibition Center

ジャパンパビリオン概要

・出展者数：650社
・来場者数：42,810人
・日本からの参加企業： 6 社
・出展規模：63㎡

・水産物加工、カレー・香辛料、健康食品、こんにゃく、食品OEM生産の事業者が参加し、
健康や品質への意識の高まりを背景に、日本の食品に対しての関心も高く活発な商談が行われた。

ウラジオストクにおける日本ラーメン店のテスト営業について

平成29年９月７日～10月29日の間、日本の外食事業者を対象に、ウラジオストクで試行的な実店舗営業（日本ラーメンのテスト営業）を実施し、ロシアへの出店可能性の検証を実施。

出店したラーメン店

①鶏源（とりげん）ラーメン

北海道を拠点に、国内に飲食店や小売店を74店舗と、ウラジオストクにも出店している「炭火居酒屋　炎」が手がけるラーメン店。テスト営業では、味噌ラーメンを提供。

②麺や　琥張玖（こはく）

札幌市内に２店舗を展開している札幌ラーメン店。テスト営業では、自社の特長を活かした中太麺を使用したオーソドックスな札幌味噌ラーメンを提供。

③麺屋政宗

宮城県名取市を拠点に、県内と海外（サンクトペテルブルク、カンボジア）に13店舗を展開しているラーメン店。テスト営業では、醤油ラーメンと塩ラーメンを提供。

④なりたけ

千葉県を拠点に、国内（5店舗）と海外（フランス１店舗）を展開しているラーメン店。テスト営業では、中太麺と上質な豚の背脂を贅沢に使用した醤油ラーメンを提供。

テスト営業結果

１．各店舗の来店者数

	【実施期間】	【来店者数】
① 鶏源ラーメン	9月　7日 ～　9月17日（11日間）	約 1,800名（一日平均約170名）
② 麺や琥張玖	9月22日 ～ 10月　1日（10日間）	約 2,100名（　〃　平均約200名）
③ 麺屋政宗	10月06日 ～ 10月15日（10日間）	約 2,300名（　〃　平均約230名）
④ なりたけ	10月20日 ～ 10月29日（10日間）	約 1,500名（　〃　平均約150名）
合　計		約 7,700名（　〃　平均約190名）

２．スタンプラリー調査による３店舗以上へのリピーター来店者数

約760名（うち４店舗全ての来店者：約540名、３店舗の来店者数約220名）

事業成果

総来店者数が約7,700名（このうち１割に相当する約760名は複数回来店しリピーター化）と一日中満席が続くほど大人気であったことから、ロシア企業から出店ラーメン店数社に対して共同出店のオファーあり、以下の成果に繋がっている。

① 麺や琥張玖がウラジオストクに出店（11月16日）※西山製麺は3万食分の麺を輸出済み

② 麺屋政宗がヤクーツク（ロシア連邦サハ共和国首都）に出店予定（平成30年２月予定）